

都市社会学

有斐閣双書

都 市 社 会 学

岩井弘融編



有斐閣双書

基本テキスト

【編者紹介】

い 岩 井 弘 融

1919年佐賀県生

1947年東京大学文学部社会学科卒

現在 東洋大学教授、文学博士

専攻 都市社会学、犯罪社会学

主著 『病理集団の構造』誠信書房、1963

『犯罪社会学』弘文堂、1964

有斐閣双書

都市社会学

¥ 1,100.

昭和43年5月30日 初版第1刷発行

昭和54年12月10日 初版第12刷発行

編 者

岩 井 弘 融

発 行 者

江 草 忠 允

東京都千代田区神田神保町2-17

発 行 所 株式会社 有 斐 閣

電 話 東 京 (264) 1311 (大代表)

郵便番号 [101] 振替口座東京 6-370 番

本郷支店 [113] 文京区東京大学正門前

京都支店 [606] 左京区田中門前町44

印刷 藤本綜合印刷株式会社・製本 稲村製本所

© 1968, 岩井弘融. Printed in Japan

落丁・乱丁本はお取替えいたします。

3336-096055-8611

は し が き

日本は、いまや飛躍的な都市化時代に入っている。半世紀前には、全人口のわずか2割にも満たなかった都市人口が、今日ではすでに約7割を占めるまでにいたった。都市が農村の大海の中に浮かぶ点であった時代は過去となり、日本列島の全体がやがて都市地帯の連続で埋めつくされる日の来ることさえも予想されるのである。

このような都市の発達は、なにもわが国にかぎらない。一足先きに発達した欧米諸国はもとより、かつて未開の地域であった新興諸国においても、最近の都市化はすこぶるめざましい。そして、こうした現実の変化に応じて、都市の社会学も、近来あらためてその重要性を再認識されるにいたっている。

都市という巨大な人口集積地の強磁性の秘密はどこにあるのか、一見、無法則とも見える人口の集中と展開の背後にどのような社会的な暗号を解読すべきか、それは社会構造的にどのような多体複合によって形成され、あるいは、目に見えざる立体的構造をもって組み立てられているか、その住民の生活の特徴はどこにあるのか、さらにまた、どのような社会問題が都市の複雑な矛盾や間隙に発生しているのか、それらはいかなる解決をめざされつつあり、他方その阻害条件は如何、等々、といった一連の問題が、人々の関心を高めつつある。もちろん、それらがすべて都市社会学の課題でもないし、また、問題自体についても、どの科学領域でもそうであるように、今後なお多くの研究成果を積みかさねらるべき未開拓の部分を含んでいる。しかし、その研究を推進する前提条件としても、われわれは一応の都市社会的な基礎知識を必要とする。

2 は し が き

本書は、このような基礎的な役割を果たすことを目的とし、主として大学で新鮮な意欲に燃えて、これから学習をはじめようとする学生諸君を対象として、書かれたものである。しかし、もちろん、大学生のみならず、ひろく都市の研究に興味をもたれる人々にも、十分役立つものと確信する。本書の構成は、入門書としての性質から、厳密狭義の体系化もさることながら、教授者の立場と便宜を考慮に入れて、むしろひろく問題領域を採り上げる方針をとった。また、記述の内容素材は、もっぱら日本の場合に重点を置くことに留意した。

執筆者の分担は、扉裏の頁に示したとおりである。編集に当たっては、まず編者が荒筋を示し、その後はできるだけこれに沿って執筆者に努力をお願いし、最後に若干の補綴・修正を行なった。しかし、執筆者にはそれぞれ独自の観点があり、また、行論の必要上、若干の重複の生じることも避けがたいところであった。しかし、こうした手続上から、あるいは執筆者各位の本意を多少とも暢達にせず、また、読者諸君に難解を感じさせるところが多かったとしたら、すべてこれ編者の責任である。

しかし、もし幸いに本書が、いささかなりとも従来の都市社会学書を前進させ、新風を注入して読者の豊かな研究の創造力を刺激することになれば、喜びこれに過ぎるものはない。最後に、公刊にあたり執筆に御協力願った各位はもとより、直接に多大の労を執られた有斐閣編集部の中村幸雄氏、ならびに高嶋勇氏にたいして、ここに心から感謝の意をさげるものである。

1968年3月

編 者

執筆分担（執筆順）

岩井弘融	（東洋大学教授）	〔第1講，第5講，第9講〕
布施鉄治	（北海道大学教授）	〔第2講〕
園田恭一	（東京大学助教授）	〔第3講，第8講4〕
石川淳志	（法政大学教授）	〔第4講〕
中村八朗	（筑波大学教授）	〔第6講〕
副田義也	（筑波大学教授）	〔第7講1・2〕
奥田道大	（立教大学教授）	〔第7講3〕
古城利明	（中央大学教授）	〔第8講1・2・3〕

『有斐閣双書』の刊行に際して

わが社は、創業 70 周年記念出版の一として「有斐閣全書」を、次いで「教養全書」を、また 80 周年記念として「法律学全集」を、さらに随時各種の「講座」「演習」「辞典」などを刊行し、戦後における学術の発展と普及に大きな役割を果たしてきた。

しかし、近時の大学教育のめざましい進展により、学習・研究者の層が著しく拡大されてきたこと、さらに最近の社会的・経済的情勢の変化に伴ない、社会人の再教育が重要性を加え、かつ実務上の問題解決に正しい指針を与える良書を求める声の大なることを顧慮するとき、旧来の殻を破った新しい双書の必要を痛感するに至った。

『有斐閣双書』は正にその要請に応えるために企画されたもので、法律・経済・社会などの社会科学を中軸とし、広く人文科学その他の関連分野にわたる従来の研究の貴重な成果をとり入れ、表現は平易・簡潔に、内容は必要にして十分なコンパクトなものであることを期している。

本双書は、次の二つを主な内容とする。まず、〈入門・基礎知識編〉では、初学者のためのやさしい教科書、既修知識を能率よく整理するための参考書、さらに、通常の教科書では初学者には理解しにくいもの、または十分に論じ及んでいない問題についての、分りやすい解説などを収め、それぞれの読者層に対応した正しい基礎知識を提供する。

次に、〈理論・実務編〉では、理論・実務上の重要なテーマについて、専門分野の枠にとらわれることなく総合的に解説し、研究者にとっては、研究の豊かな糧となり、実務家にとっては、日常の執務のよき相談相手となることを期するものである。

執筆者には、それぞれの問題について、造詣の深い新鋭と権威をお願いし、読者の要望に正しく応えうるように最善の配慮をしている。この双書発刊の意義と熱意をくまれ、心からなる御支援をお願いしてやまない。

(昭和 39 年 3 月)

有斐閣双書 既刊と続刊

法律・政治

伊藤正己・加藤一郎編
現代法学入門

末川 博編
法学入門

渡辺洋三編
法の常識
＜改訂版＞

佐藤幸治・田中成明著
*法の考え方

伊藤正己・加藤一郎編
教材法学入門

天野和夫著
法思想史入門

柴田光蔵著
ローマ法の基礎知識

伊藤正己著
憲法入門
＜新版＞

大西芳雄編
憲法概説

阿部照哉・池田政章編
憲法

- (1) 総論
- (2) 基本的人権 1
- (3) 基本的人権 2
- (4) 統治機構

綿貫芳源・高原賢治編
憲法 25 講

小嶋和司著
憲法概観
＜新版＞

宮田 豊・阿部照哉他著
基本憲法

奥平康弘・杉原泰雄編
憲法学

- | | |
|-------------------|---------------------|
| (1) 人権の
基本問題 1 | (4) 統治機構の
基本問題 1 |
| (2) " 2 | (5) " 2 |
| (3) " 3 | (6) " 3 |

芦部信喜・小嶋和司他著
憲法の基礎知識
—質問と解答—

阿部照哉・池田政章編
憲法判例
＜増補版＞

佐藤 功編
教材憲法入門

今村成和著
行政法入門
＜新版＞

杉村敏正編
行政法概説総論
＜改訂版＞

杉村敏正編
行政法概説各論
＜改訂版＞

成田頼明・荒 秀他著
現代行政法

南 博方・田村悦一他編
行政政法

- (1) 行政法総論
- (2) 行政手続・行政争訟
- (3) 地方自治法

杉村敏正・広岡 隆他著
行政法の基礎知識
—質問と解答—

広岡 隆・室井 力他編
行政法判例
＜改訂版＞

広岡 隆著
行政代執行法

遠藤博也著
都市計画法 50 講

鈴木祿弥・高原賢治編
土地収用法 50 講

下出義明編
土地地区画整理法 50 講

遠藤 浩・荒 秀他編
建築基準法 50 講

南 博方著
*租税法入門

小松芳明著
法人税法概説

幾代 通・遠藤 浩編
民法入門

谷口知平・於保不二雄編
民法概説

- (1) 総則・物権
- (2) 債権
- (3) 親族・相続

遠藤 浩・川井 健他編
民法

- | | |
|----------|----------|
| (1) 総則 | (6) 契約各論 |
| (2) 物権 | (7) 事務管理 |
| (3) 担保物権 | (7) 不当利得 |
| (4) 債権総論 | (8) 親族 |
| (5) 契約総論 | (9) 相続 |

樽 寿夫著
財産法 25 講
＜新版＞

島津一郎著
家族法入門

佐藤隆夫著
現代家族法 50 講

奥田昌道・玉田弘毅他編
民法学

- (1) 総論の重要問題
- (2) 物権 " (5) 契約 "
- (3) 担保物権 " (6) 不法行為 "
- (4) 債権総論 " (7) 親族相続 "

幾代 通・鈴木祿弥他著
民法の基礎知識(1)
—質問と解答—

高梨公之・染野義信他著
民法の基礎知識(2)
—質問と解答—

甲斐道太郎・乾 昭三他編
民法判例(1)
—総則・物権— **＜新版＞**

甲斐道太郎・乾 昭三他編
民法判例(2)
—債権— **＜新版＞**

中川 淳・久貴彦編
民法判例(3)
—親族・相続—

水本 浩・高木多喜男編
民法 300 題

田中 実編
不動産法概説(1)
—民法篇—

荒 秀・小高 剛編
不動産法概説(2)
—行政法規篇—

鈴木祿弥著
根抵当法の問題点

谷口知平・植林 弘著
損害賠償法概説

五十嵐 清・田宮 裕著
名誉とプライバシー

野村好弘著
自動車事故の民事判例
〈増訂版〉

野村好弘著
医療事故の民事判例

野村好弘著
名誉侵害の民事判例

野村好弘著
学校事故の民事判例

野村好弘著
公害の判例

野村好弘著
日照の判例

太田武男著
夫婦の法律
〈新版〉

太田武男・久貴忠彦著
親子の法律
〈改訂版〉

太田武男著
*相続の法律

久貴忠彦著
判例特別縁故者法

服部栄三・北沢正啓編
商 法
〈改訂版〉

大隅健一郎・大森忠夫編
商法概説(1)
—序論・総則・会社法—

大隅健一郎・大森忠夫編
商法概説(2)
—商行為・手形小切手法等—

上柳克郎・北沢正啓他編
*商法総則・商行為法
商法講義 1

上柳克郎・北沢正啓他編
会社法(1)
商法講義 2

上柳克郎・北沢正啓他編
会社法(2)
商法講義 3

上柳克郎・北沢正啓他編
手形法・小切手法
商法講義 4

三戸岡道夫著
株式会社法入門
〈改訂版〉

河本一郎著
約束手形法入門
〈第3版〉

上柳克郎・中西正明編
商法判例(1)
—総則・会社法—

上柳克郎・中西正明編
商法判例(2)
—商行為・手形小切手法等—

今井 宏・神崎克郎他著
コンメンタール会社法(1)
—総則・設立〜新株発行—

今井 宏・神崎克郎他著
コンメンタール会社法(2)
—会社の計算〜有限会社等—

中田淳一編
民事訴訟法概説(1)
—判決手続—

中田淳一編
民事訴訟法概説(2)
—強制執行手続—

青山善充・伊藤 真他著
破産法概説

藤木英雄著
刑 法

平場安治・井上正治他編
刑法概説(1)
—総 論—

平場安治・井上正治他編
刑法概説(2)
—各 論—

福田 平・大塚 仁他編
刑 法
(1) 総 論 1 (3) 各 論 1
(2) 総 論 2 (4) 各 論 2
(5) 各 論 3

福田 平・大塚 仁著
刑法の基礎知識(1)
—総 論—

福田 平・大塚 仁著
刑法の基礎知識(2)
—各 論—

西原春夫・藤木英雄他編
刑 法 学
(1) 総 論の 1 (4) 各 論の 1
(2) 重 要 問 題 2 (5) 重 要 問 題 2
(3) " 3 (6) " 3

藤木英雄編
教材刑法入門

平場安治・宮内 裕編
学説・判例刑法案内
〈新版〉

西原春夫・大谷 実編
刑法 200 題

藤木英雄著
経済取引と犯罪

藤木英雄・土本武司他著
刑事訴訟法入門

松尾浩也・田宮 裕著
刑事訴訟法の基礎知識
—質問と解答—

阿部純二・斎藤誠二他著
*刑事政策入門

佐藤晴夫・森下 忠編
犯罪者の処遇

有泉 亨編
労働法概説
〈新版〉

菊池勇夫・林 迪広編
労働法大意
〈改訂版〉

外尾健一著
労働法入門

片岡 昇著

労働法(1)

—総論・労働団体法—

片岡 昇著

労働法(2)

—同(2)・労働者保護法—

窪田隼人・本多淳亮他著

労働法の基礎知識

—質問と解答—

青木宗也・片岡 昇他編

労働法判例

<新版>

外尾健一・花見 忠編

教材労働法入門

中山和久・深山喜一郎他著

* コメント

労働組合法

花見 忠編

労働基準法 50 講

下井隆史・水野 勝他著

コメント

労働基準法

花見 忠・保原喜志夫編

労災補償安全衛生50講

久保敬治著

労使間の交渉手続

西原道雄編

社会保障法

<新版>

佐藤 進編

社会保障法判例

佐藤 進・高沢武司編

児童福祉法 50 講

小野昌延著

不正競争防止法概説

紋谷暢男著

無体財産権法概論

紋谷暢男編

特許法 50 講

吉原省三・紋谷暢男著

* 商標法概説

小野昌延著

* 商標法入門

紋谷暢男編

商標法 50 講

紋谷暢男編

* 意匠法・パリ条約50講

半田正夫・紋谷暢男編

* 著作権法 50 講

小田 滋・石本泰雄他編

現代国際法

香西 茂・太寿堂 鼎他著

国際法概説

沢木敦郎著

国際私法入門

藤田 勇・乾 研一他著

* ソヴィエト法概説

篠原 一・永井陽之助編

現代政治学入門

勝田吉太郎・山崎時彦編

政治思想史入門

加藤一明・加藤芳太郎他著

行政学入門

斉藤 孝編

国際関係論入門

中村英勝著

イギリス議会史

<新版>

経済・経営

大石泰彦編

現代経済学入門

<増訂版>

荒 憲治郎・福岡正夫編

経済学

熊谷尚夫・大石泰彦編

近代経済学

(1) 基礎理論

(2) 応用経済学

(3) 近代経済学史

伊東正則・武野秀樹編

近代経済学要論

牛嶋 正・林 敏彦編

* マクロ経済学の基礎

伊東正則・武野秀樹他編

マクロ経済学要論

伊東正則・武野秀樹他編

ミクロ経済学要論

荒憲治郎・稲毛満春他編

経済学

(1) 価格の理論 (4) 経済循環論

(2) 厚生経済学 (5) 所得の理論

(3) 産業組織論 (6) 経済成長論

岡野行秀・根岸 隆編

公共経済学

馬場正雄編

計量経済学入門

置塩信雄著

近代経済学批判

保坂直達・安井修二編

例解近代経済学講義(1)

—マクロ経済学—

藤野志朗・吉村二郎編

例解近代経済学講義(2)

—ミクロ経済学—

宮崎義一編

近代経済学研究入門

大谷竜造・斎藤謙造編

現代経済学研究案内

- 横山正彦編
經 濟 学 概 論
- 手嶋正毅編
經 濟 学 の 基 礎
- 古川 哲編
經 濟 学 要 論
- 宮本義男編
經 濟 原 論
- 杉原四郎・佐藤金三郎編
マルクス経済学
- 富塚良三編
經 濟 分 析 入 門
- 杉本俊朗編
マルクス経済学
研究入門
- 森田優三・竹内 清他編
統 計 学 入 門
- 内海康一郎・木村太郎他編
統 計 学
<改訂版>
- 大橋隆憲・高木秀玄他編
經 濟 統 計
- 奥口孝二・西村和雄他著
* 經 濟 数 学 入 門
- 小林 昇編
經 濟 学 史
- 出口勇蔵編
經 濟 学 史 入 門
- 時永 淑編
經 濟 学 説 史
- 田中敏弘・山下 博他著
* 近 代 經 濟 学 史
- 水田 洋編
社 会 思 想 史
- 堀江英一著
經 濟 史 入 門
<第3版>
- 石坂昭雄・船山栄一他著
西 洋 經 濟 史
- 永原慶二編
日 本 經 濟 史
- 後藤 靖・佐々木隆爾他著
日本資本主義発達史
- 野田 稔・中村秀一郎編
經 濟 政 策 入 門
<新版>
- 千種義人編
經 濟 政 策
- 神野璋一郎・吉田義三編
經 濟 政 策 論
- 加藤 寛・中村秀一郎他編
經 濟 政 策 論
(1) 経済政策の原理
(2) 日本の経済政策
(3) 日本の産業政策
- 百々 和・野尻武敏他編
經 濟 政 策 総 論
- 尾上久雄編
經 濟 体 制 論
- 金子敬生編
産 業 連 関 分 析
- 宮川公男編
シ ス テ ム 分 析 概 論
—政策決定の手法と応用—
- 越後和典編
産 業 組 織 論
- 新野幸次郎・伊東光晴編
寡 占 經 濟 論
- 一瀬智司・大島国雄他編
公 共 企 業 論
- 福地崇生編
地 域 經 濟 学
- 山田浩之編
都 市 經 濟 学
- 江見康一・塩野谷祐一編
日 本 經 濟 論
—経済成長100年の分析—
- 美濃部亮吉・御園生 等編
日 本 經 濟 入 門
<第2版>
- 小尾恵一郎編
日本経済分析入門
- 宮下武平編
日 本 産 業 論
- 伊東岱吉・小林義雄他編
工 業 經 濟 論
- 藤田敬三・竹内正巳編
中 小 企 業 論
<新版>
- 加藤誠一編
中小企業問題入門
- 川上正道・上原信博著
農 業 政 策 論
<新版>
- 増井健一・佐竹義昌編
交 通 經 濟 論
- 中西健一・平井都士夫編
交 通 概 論
- 角本良平著
都 市 交 通 政 策 論
- 早川和男・和田八束他編
住 宅 問 題 入 門
- 田村 茂・石川常雄他著
金 融 論 入 門
- 三宅義夫著
金 融 論
- 竹村脩一・玉野井昌夫編
金 融 經 濟 論
<新版>

麓 健一著
貨幣 論

矢尾次郎・川口慎二編
金融政策入門
＜新版＞

紅林茂夫・東 米雄他編
銀行論入門
—日本の金融と銀行—
高木暢哉編
銀行 論

川合一郎・一泉知永編
証券市場論
＜改訂版＞

伊牟田敏充・熊野剛雄他著
証券經濟論

木村栄一・庭田範秋編
保險 概 論

庭田範秋編
保險 經營 論

長崎正造著
損害保險論入門

木村栄一編
損害保險論

庭田範秋編
生命保險論

牛嶋 正・米原淳七郎編
財政学入門

肥後和夫編
財政学要論
＜新版＞

木下和夫・肥後和夫他編
財政学
(1) 財政の理論
(2) 日本の財政
(3) 日本の地方財政

高橋 誠・柴田徳衛編
財政学

木下和夫編
財政政策入門

吉岡健次・和田八束編
現代地方財政論

米原淳七郎著
地方財政学

恒松制治・橋本 徹編
都市財政概論

橋本 徹・宇田川璋仁編
福祉財政論

相原 光・土屋六郎編
國際經濟学入門
＜新版＞

水田 博・名和献三編
國際經濟論

行沢健三編
入門國際經濟学

松井 清著
世界經濟入門
＜増訂版＞

小野——一郎・吉信 康編
南北問題入門

宇高基輔編
社会主義經濟論

木下悦二編
貿易論入門
＜新版＞

新庄 博著
國際金融論

村野 孝・松村善太郎編
國際金融
—通貨と制度—

小野朝男・西村閑也編
國際金融論入門

幸田精藏編
外国為替論入門

木村 滋著
外国為替論

岸本英太郎編
社会政策入門
＜改訂版＞

矢島悦太郎編
社会政策概論

吉村朔夫・戸木田嘉久編
現代社会政策

岸本英太郎編
労働經濟論入門

小野 旭・南 亮進編
労働經濟論

近藤文二編
社会保障入門
＜新版＞

小山路男・佐口 卓編
社会保障論
＜新版＞

西村裕通編
労働者福祉論

黒住 章・中鉢正美他編
老齡保障論

佐口 卓著
医療保險論

桜井信行編
現代經營学入門

中村常次郎編
經營学
＜増訂版＞

馬場克三編
經營学概論

岡村正人編
經營学総論

高柳 暁・飯野春樹編
經營学
(1) 総論
(2) 管理の理論と實際
(3) 演習

米川伸一編
經營史

原 輝史編
* フ ラ ン ス 経 営 史

田杉 競編
経 営 管 理 総 論

松岡蒼木編
経 営 管 理 論
<改訂版>

丹波康太郎編
財 務 管 理 概 論

細井 卓著
財 務 管 理 入 門

後藤幸男・森 昭夫編
経 営 財 務

森 五郎編
労 務 管 理 論
<増訂版>

海道 進・島 弘編
現代労務管理概論

藤田 忠編
人 事 管 理

人見勝人著
生産の計画理論

涌田宏昭編
経 営 情 報 論

片岡信二著
コ ン ピ ュ ー タ 入 門
ハード・ソフト・システム

森下二次也編
商 業 概 論

石坂昭雄・諸田 実他著
* 商 業 史

深見義一・佐藤 肇他編
流 通 問 題 入 門

久保村隆祐・高城 元編
小 売 流 通 入 門

深見義一編
マ ー ケ テ ィ ン グ 論
<増訂版>

マーケティング・
サイエンス研究会編
マーケティング調査
久保村隆祐・村田昭治編
広 告 論

鈴木忠義編
現 代 観 光 論

飯野利夫編
現 代 会 計 学 入 門
<新版>

山耕忠恕編
会 計 学
<改訂版>

青木茂男編
管 理 会 計 概 論

久保田音二郎編
管 理 会 計

久保田音二郎編
原 価 会 計

大即英夫・君塚芳郎他著
原 価 計 算

高田正淳編
監 査 論
<改訂版>

大山政雄編
機 械 会 計 論

社会・その他

日本社会学会編集委員会編
現 代 社 会 学 入 門
<第2版>

福武 直・浜島 朗編
社 会 学

山根常男・森岡清美編
現代社会学の基本問題

浜島 朗編
* 社 会 学 史

福武 直・松原治郎編
社 会 調 査 法

安田三郎著
社会調査ハンドブック
<新版>

武藤真介著
社 会 統 計 学

萬成 博・杉 政孝編
産 業 社 会 学

佐藤 毅編
社 会 心 理 学

安田三郎編
現代日本の階級意識

姫岡 勲・二関隆美編
教 育 社 会 学

浜島 朗編
現 代 青 年 論

森岡清美編
家 族 社 会 学

青井和夫・松原治郎他編
生 活 構 造 の 理 論

岩井弘融編
都 市 社 会 学

中村△朗著
都市コミュニティの社会学

日本犯罪社会学会編
犯 罪 社 会 学

日高六郎・佐藤 毅他編
マス・コミュニケーション
ケースション入門

千葉雄次郎編
マス・コミュニケーション
ケースション要論

高木教典編
* マス・メディア産業論

蒲生正男・祖父江孝男編
文化人類学

吉田禎吾・蒲生正男編
社会人類学

大橋 薫編
社会病理学

大橋 薫・大藪寿一編
都市病理学

大橋 薫・四方寿雄他編
家族病理学

湯沢雅彦編
老年学入門

一番ヶ瀬康子・真田 是編
社会福祉論
＜新版＞

吉永 清・今岡健一郎他編
社会福祉概説

小松源助編
ケースワーク論

一番ヶ瀬康子編
児童福祉論

山口 透編
少年保護論

平尾 靖編
非行一補導と矯正教育

星野貞一郎・藤村 哲他編
障害福祉入門

水島恵一編
人間科学入門

水島恵一著
人間学

水島恵一著
人間学の実践

末永俊郎編
現代心理学入門

大山 正・詫摩武俊他著
心理学
＜第2版＞

麦島文夫・安香 宏他著
心理学要論

柿崎祐一他編
心理学

(1) 知覚・認知
柿崎祐一・牧野達郎編

(2) 学習・思考
金城辰夫・斎賀久敏編

(3) 動機づけ・情緒
吉田正昭・祐宗省三編

(4) 人格
星野 命・河合隼雄編

(5) 発達
岡本夏木・三宅和夫編

(6) 社会心理
辻 正三・中村陽吉編

(7) 家族心理
古畑和孝・小嶋秀夫編

* (8) 産業心理
森清善行・長山泰久編

大山 正・池田 央他編
心理測定・統計法

河内十郎・深田芳郎著
* 生理心理学の基礎

沢田慶輔・小口忠彦編
教育心理学

小口忠彦・辰野千寿編
教育心理学原論

波多野龍余夫・久原恵子著
入門教育心理学

北尾倫彦・杉村 健編
児童学習心理学

依田 明・永野重史著
* 入門児童心理学

深谷昌志・深谷和子著
現代子ども論

上出弘之・伊藤隆二編
知 能

津留 宏編
青年心理学

岡堂哲雄編
家族心理学

安藤瑞夫編
産業心理学

山田雄一編
組織心理学

平尾 靖編
犯罪心理学

梅津耕作編
自閉児の行動療法

梅津耕作編
* 自閉児の治療教育

山崎正一・田島節夫編
現代哲学入門

沢田允茂編
哲 学

城塚 登編
西洋哲学史

城塚 登編
社会思想史入門

荒川幾男・生松敏三編
近代日本思想史

堀米庸三編
現代歴史学入門

井上光貞編
日本史入門

西嶋定生編
東洋史入門

井上幸治編
西洋史入門

勝田守一編
現代教育学入門

中内敏夫編
教育学概論

吉田 昇・長尾十三三他編
教育学

- * (1) 教育原理
- * (2) 中等教育原理
- * (3) 近代教育思想
- * (4) 日本教育史
- * (5) 教育方法
- * (6) 教科教育と教材

道 喜美代・渡辺ミチ編
家 政 学

金田利子著
乳 幼 児 保 育 論

久松潜一著
日本文学史通説

中西 進編
上代日本文学史

木村正中編
*中古日本文学史

有吉 保編
中世日本文学史

神保五弥編
近世日本文学史

三好行雄編
近代日本文学史

三好行雄・竹盛天雄編
近代文学

- (1) 黎明期の近代文学
- (2) 明治文学の展開
- (3) 文学的近代の成立
- (4) 大正文学の諸相
- (5) 現代文学の胎動
- (6) 昭和文学の実質
- (7) 戦後の文学
- (8) 近代の詩歌
- (9) 現代の詩歌
- (10) 文学研究の主題と方法

山崎俊雄編
現代自然科学入門

白井俊明著
無 機 化 学 入 門

小辞典シリーズ

伊藤正己・阿部照哉他編
憲 法 小 辞 典

阿部 齊・内田 満編
現代政治学小辞典

浜島 朗・竹内郁郎他編
社 会 学 小 辞 典

大山 正・藤永 保他編
心 理 学 小 辞 典

*印は近刊
—以下逐次刊行—

目 次

第1講 序 論	1
1. 基本的な概念	1
2. 都市社会学の問題領域	6
第2講 形成・発展理論	13
1. 都市の発展と全体社会	13
近代産業都市成立の意義(13)	
都市集落の構造と機能(14)	
2. 都市の歴史的・形成・展開過程	16
古典古代における都市(16)	
古代都市の展開と終焉(17)	
農村と都市との分離(19)	
中世都市共同体の構造(20)	
3. 産業化と近代都市	22
マニファクチュアと市場町(22)	
産業革命と近代都市(24)	
近代都市と都市問題(27)	
4. 現代都市の構造と機能	29
近代都市から現代都市へ(29)	
都市と都市との相互関係(30)	
都市と農村との関係(32)	
都市社会構造の変容(33)	
5. 現代都市と社会変動	34
現代都市と地域変動(34)	
社会変動と現代都市(36)	

2 目 次

第3講 地域構造論	39
1. 都市の空間構造と人間生態学	39
都市生活の特徴(39)	
都市の地域的分化(41)	
人間生態学の理論(44)	
2. 地域社会の広域化と巨大都市帯の形成	46
経済圏・生産圏・生活圏(46)	
メトロポリス・メガロポリス・エキュメノポリス(49)	
3. 地域構造と社会構造	51
都市の発展類型と社会構造(51)	
都市の居住地域と社会構造(55)	
第4講 階級・階層構造論	61
1. 基本的社会構造としての階級構造	61
2. 人口構造	63
3. 産業・職業構造	67
4. 階級分化と存在形態	72
都市の階級分化(72)	
ホワイトカラー(75)	
生産労働者(80)	
自営業者層(84)	
貧困階層(86)	
第5講 生活構造論	91
1. 都市住民と生活構造	91
生活(91)	
生活構造(91)	
2. 家族生活	93
都市家族の一般的傾向(93)	
家連合と人口流入(93)	